

# 鹿児島女子高校での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30

場所:鹿児島女子高校

平成25年2月

鹿児島市 市民協働課

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30

場所:鹿児島女子高校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	2年生	① 最近、錦江湾のゴミが増えて いると思う。 きれいな海はもっと観光PRな どに利用できると思うので、ごみ 撤去の対策を考えてほしい。	① 鹿児島は歴史や文化に加え、自然も大変豊かで、全国に誇れる貴重な財 産だと思います。 その中で、今お話のあったゴミ問題も大きな課題の一つだと思いますし、 海や川、森といった自然環境をしっかりと守っていくことが、その街のステイ タスになると思います。 皆さんもボランティアで清掃活動をしておられますので、美化活動に積極 的に参加されていることに、心から感謝申し上げます。 また、鹿児島市でも色々なボランティア団体、美化活動推進団体の方々 に、海岸での清掃活動を実施していただいています。23年度は延べ19団 体、約2,000人の皆さんにご参加いただいているようですので、錦江湾の美 化について、そういう団体のご協力もいただきながら、清掃活動に取り組ん でいきたいと思ひます。 もうひとつは、鹿児島市を含めて、錦江湾に面する市や町などで組織する 「錦江湾みらい総合戦略推進協議会」という組織で、毎年、夏と秋に「錦江 湾クリーンアップ作戦」を実施しています。磯海岸や小池海岸、マリンピア 喜入周辺海岸で、住民の方々と一緒に清掃していただいています。 やはり、錦江湾や周辺の川、森といった自然をきれいにすることが、美し いまちづくりにもつながっていくと思ひます。これからも行政だけでなく、多く の市民や民間団体の方々と一緒にクリーンアップ作戦を実施してい きますので、そういった活動があったら、是非を参加してください。	環境局 経済局	※市長回答のとおり
2	2年生	② 冷水峠から長田町を登下校に 利用しているが、とても暗くて危 険なので、電灯を増やしてもらえ ないか。  ※ 設置要望箇所は冷水通線 の 未整備区間	② 鹿児島市では、暗がりへの対策を進めることで、犯罪の防止や市民の皆 さんの通行の安全を図る対策を行っていますが、そういった目的で設置さ れる防犯灯については、町内会に設置や維持管理をしていただいており、 設置の際には鹿児島市が補助をしています。防犯灯の具体的な設置場所 を後ほどお聞きしますので、該当する町内会にお話をしていきたいと思ひ ます。 また、市道の車道部分の街灯については、市が道路管理者として設置し ていますので、暗い所や危ない所を具体的に指摘していただければ、現場 を調査してみたいと思ひます。	市民局 建設局	(市民局) ご要望の件につきましては、該当の町内会(冷 水町町内会、永田町町内会)にお伝えいたしまし た。  (建設局) 現場調査を行った結果、一部の区間において 暗く、歩行者の通行時に不安を感じる箇所もあり ました。そのため、新たに設置基準を満たす箇所 の精査を行い、設置に向けて取り組んでまいりま す。

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30

場所:鹿児島女子高校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	2年生	③ 市が計画をして、ペットボトルの回収を増やす運動や、ごみのリサイクル運動など、ゴミ問題について、市民の意識を高めるなど、市ができることはないか。	③ ペットボトルについては、キャップをつけたまま出されているケースが多いので、しっかり分別してほしいということで、「ごみ出しカレンダー」を各家庭に配布しています。カレンダーに基づいて、毎週、それぞれのごみを搬出していただいています。 また、ごみを出す際に、リサイクルできるものはリサイクルしてほしいと思いますし、ごみの問題で肝心なのは、ごみを出さないことだと思いますので、そのことを市民の皆さんにしっかりと広報し、情報を発信していきたいと思います。 我々はごみを減らそうと思うのですが、再生エネルギーにできるものについては、そのように変えていく努力もしながら、ごみの減少に努めていますので、皆さんも是非ごみを減らす活動に取り組んでいただければと思います。 再利用できるものについては、再利用する、そういう取組にも関わっていただければと思います。	環境局	※市長回答のとおり
4	2年生	④ 行事の時などに来客や保護者が利用できる駐車場が近隣に無いので、場所の確保をしていただけないか。	④ 鹿児島女子高の周辺には色々な建物が建っていて、駐車場の確保が難しい状況にあるのではないかと思います。 校長先生や教頭先生、事務長さんたちとも相談をしながら、駐車場の確保に努めていきたいと思っておりますし、今後、私が鹿児島女子高の関係で取組を進めていきたいと思っているのが、運動場や玉里邸庭園の整備ですので、それらを含めて駐車場の問題も解決できるよう、年次的に進めていければと思います。	教育委員会	学校の駐車スペースについては、施設の配置状況や生徒の安全性を考慮して、学校長の判断で確保しているところです。 来校の際は、可能な限り公共交通機関をご利用いただくよう、ご協力をお願いしたいと考えていますが、駐車場については、今後、施設整備を進める中で、学校側と協議・検討していきたいと考えています。
5	2年生	⑤ サッカー部に所属しているが、先ほどお話もあったとおり校庭が狭くて、練習するスペースが狭くて困っている。 西高の跡地を少しでも分けてもらえると助かる。	⑤ 鹿児島女子高においては、限られた校庭の施設の中で工夫をしながら、授業や運動部の練習などを行っていることは承知しています。 その中で、各運動部は県内の大会でも大変優秀な成績を収めておられ、皆さんの努力に心からの敬意を表したいと思います。そしてまた、存分に練習できるような環境を整えてあげたいという思いも持っています。 これまで、学校の周辺で多目的グラウンド用地が確保できないかということを検討してきており、候補地として、今お話のあった西高跡地について、所有者である鹿児島県と協議を進めています。25年に県の方で西高跡地をきれいにさせていただく予定ですので、その後、鹿児島女子高の運動場として利用させていただくような協議を進めていければと思っています。	教育委員会	※市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30

場所:鹿児島女子高校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	2年生	⑥ 寮(白梅寮)生活を送っているが、寮の建物や家具などの老朽化が進んでいる。 また、各部屋や食堂、お風呂などが狭くて不便を感じる人が多いため、新しく設置をお願いできないか。	⑥ 寮には、市外からたくさんの生徒が入寮しているとお聞きしています。寮生活が支障なく送れるよう、必要な改修工事について、しっかりと進めていく必要があるかと思えます。 24年度は外壁の改修工事を行っていますので、お話のあったように、必要に応じて改修を行っていきたいと思います。建設年次が昭和60年ということで、だいぶ年数を経過していますので、皆さんが寮生活に満足していただけるように、計画を立てながら改修をしていきたいと思います。	教育委員会	寮については、これまでも必要な改修を行っているところであり、24年度は外壁の改修工事を行ったところです。今後とも、学校や関係課の意向を踏まえながら、計画的な改修を行っていきたいと考えています。
7	2年生	⑦ 吉野に住んでいるが、場所によってバスが1時間に1本だったりして、本数が少なくて困っている。 吉野や吉田方面から女子高前まで来る直通のバスを通していただけないか。	⑦ 市営バスで言いますと、「豎馬場」や「水族館口」で11番線へ乗り換えてご利用いただいていると思えます。 バスの運行については、各バス事業者において、利用する方々の需要や採算性などを考慮する中で検討をされていますので、お話のあったことについては、バス事業者の方々にお伝えしたいと思えます。 最終的には、各バス事業者の判断に委ねることになりますが、皆さんが不便を感じておられ、そういう要望があることをお伝えすることは、今後の事業者の判断材料になるのではないかと思います。 市営バスについては、先ほど申し上げましたように、11番線への乗り換えという形でやっていますので、交通局のバス路線新設についても採算性などを頭に入れながら検討することになると思えます。	企画財政局 交通局	(企画財政局) ※市長回答のとおり  (交通局) バスの運行路線やダイヤ等の見直しについては、利用者ニーズの把握と情報収集をする中で、費用対効果を考慮しながら検討しています。 ご要望の区間は、現在、直通のバス路線はなく、「豎馬場」や「水族館口」での11番線への乗り換えでご利用いただいております。 バス路線の新設につきましては、利用者の需要や採算性、限られた人員機材で効率的に運行できるかなどの課題がありますので、今後、通学によるバスの利用者がどれくらい見込めるかなど学校とも連絡をとりながら、必要に応じて検討して参ります。
8	1年生	⑧ 経済調査部に所属しており、現在、商業科や情報会計科を広める活動をしている。 そのため、もっと鹿児島女子高をPRする活動をしていきたいと思っているが、市はどんなサポートをして頂けるのか。	⑧ 鹿児島市は自然や歴史、温泉、食などの多彩な魅力にあふれたまちだと思っています。そういった意味で、全国にPRするため、テレビや新聞雑誌、ネットやメールといった情報発信媒体を使って、各地のイベント等で鹿児島市のイメージアップを図っています。 そしてまた、できるだけ皆さん一人一人が鹿児島の親善大使になっていただいで、若い感性で鹿児島の新たな魅力を引出し、口コミやSNSも使って鹿児島の素晴らしさを伝えていければと思います。 そういった意味で、情報伝達や情報発信に取り組んでおられるということです。鹿児島市の新たな魅力も発信していただきたいと思えます。 また、市でも鹿児島が今までと違う魅力あるまちだということを全国に発信するために色々な事業に取り組んでいますので、そういう取組を見ていただいで、学校を通じてでもいいですので、皆さんからのご提案があれば、お手伝いをしていきたいと思えます。	教育委員会	これまで、小・中学校の先生方を対象とする市教育委員会主催の各種研修会において、鹿児島女子高校への理解を深めていただくような機会を設けていますので、今後とも、同様の姿勢で取り組んでいきたいと考えています。 また、皆さんの新鮮な感覚を生かした取組や、地域のボランティア活動などについて、市の関係部局と連携を図りながら、生き生きと活躍する姿を情報発信していきたいと考えています。

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30  
場所:鹿児島女子高校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	3年生	⑨ 自転車通学をしており、安全のため道路整備が必要だと思うが、歩行者専用の通路と自転車専用の通路を分けていただきたい。	⑨ 鹿児島市でも、自転車が安全に走行できる環境づくりのために道路整備をしています。 現在、市街地周辺部などを対象に、道路を管理する国、県、市と交通安全に取り組む警察などが一緒になって組織する検討委員会で、自転車の安全性や歩行者と自転車、自転車と自動車の走行の安全性を踏まえた検討を行っていますので、しっかりと取組を進めていきたいと思ひますし、現在、鹿児島市では自転車で走行できるまちづくりを推進しています。それぞれの道路に自転車専用レーンをつくって、そこを自転車が通行することで安全性を確保できるようにしていきます。市内の各地域に、自転車で走行できる国道や県道、市道をできるだけ多く整備していきたいと思ひます。 車は便利ですが、排気ガスや安全確保の問題もありますので、自転車や徒歩でそれぞれの地域に行けるような環境整備を進めていきます。	建設局	※市長回答のとおり
10	2年生	⑩ 通学などでよくバスを利用するが、鹿児島中央駅の市営バスの乗り場が分かり辛いと感じる。観光客の利用を考えて、分かりやすくできないか。	⑩ 今のご意見は、鹿児島市の観光都市としての大きな課題だと思います。鹿児島中央駅のバスターミナルは、市営及び民間バス会社の共同バス停ですので、行き先方面別に分けたバス停留所を設置しています。そして、バス乗り場の案内表示については、これまで鹿児島市においても目的地別の停留所案内を表示していますが、今後とも市営バスや民間の交通事業者の方々と連携を図っていきながら、改善に努めていきたいと思ひます。市営バスの乗り場については、できるだけ分かりやすい乗り場となるように、引き続き関係機関の方々と協議していきたいと思ひます。 なお、路線バスではありませんが、カゴシマシティビューの乗り場を、従来の東9番乗り場からアミュプラザ正面の東4番乗り場へ移転しています。 乗り場が分かりにくいということですので、まず、案内表示をしっかりとすること、乗り場が利用者にとって分かりやすくなるように情報発信をしていきたいと思ひます。今のご意見は、バス事業者にも伝えておきたいと思ひます。	企画財政局 交通局	※市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30

場所:鹿児島女子高校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	1年生	⑪ 経済調査部では、過去にグルメマップや子育て支援マップを作って天文館などをアピールしてきたが、女子高がもっと市のPRのために活動できることはないか。	⑪ 私も拝見しましたが、素晴らしいマップを作っていただいたと思います。皆さんの若い感性でこのようなものを作られるということは、行政にとっても大変ありがたいことですし、また、店舗を営業されている方々にとってうれしいことだとも思います。 このようなマップを作った際は、私たちにも教えてほしいですし、経済団体の方々にもしっかりとお伝えしていければ、皆さんの知恵と工夫を凝らしたものを情報発信することができ、もっと多くの皆様方に利用していただけるのではないかと思います。 そういった意味では、鹿児島の情報を発信するような企画をされた場合には、是非、教えていただき、それを活用する方法を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。	経済局	※市長回答のとおり
12	1年生	⑫ 最近、県外や国外から鹿児島に来られる観光客の方々が楽しそうにしているのをよく見かける。まちづくりがしっかりしているからだと思うが、今後さらに鹿児島を発展させるために、何か計画があるのか。	⑫ 鹿児島市を含めて県内の各自治体は、平成23年3月12日の九州新幹線全線開業を大きな礎にして、色々なことを計画し、多くの皆さんを鹿児島に迎え入れる準備をしてきました。 そのお陰で、23年は鹿児島市に来ていただいた入込観光客数が955万人を超え、鹿児島に宿泊していただいた方々が326万人となり、これまでの統計で最高を記録しました。鹿児島の魅力を全国に情報発信したことや、鹿児島に来ていただいた方々に、鹿児島の皆さんが素晴らしいおもてなしで迎えていただいたことが、このような結果になったと思っています。 鹿児島には素晴らしい歴史や文化、豊かな自然があり、市内各所には温泉や、黒牛・黒豚といった食もありますので、是非、鹿児島で体験し、味わっていただきたいといった情報発信をしてきましたが、これからは、それらに新しい魅力を加えていきたいと思っています。 23年度に策定した「第2期鹿児島市観光未来戦略」の中にそうした事業を掲載し、取組みを進めています。例えば、全国に先駆けて取り組んだ市電の軌道敷緑化が24年度で完了しましたので、それに引き続きウォーターフロント地区に路面電車を延ばすほか、近代文化遺産群として世界遺産登録をしたり、桜島のジオパークを世界的なものにしたい、といった新たな事業を推進していくことで観光面での新たな魅力の創出につながっていくと思いますし、多くの皆さんが鹿児島に来ていただけるのではないかと思います。観光戦略について、皆さんにも意見も聞きながら取り組んでいきたいと思っています。	経済局	※市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30  
場所:鹿児島女子高校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	2年生	⑬ 3期目の市長として、今後どのような鹿児島にしたいか。	<p>⑬ 市民の皆さんが豊かさを実感できるような鹿児島市をつくっていければと思います。昨年度は、24年度を初年度とし、今後10年間のまちづくりの指針となる第五次総合計画を作りました。私が市長になった時は、前の市長が作った第四次の総合計画が策定されており、その計画に基づいて2期8年市政を運営してきました。今度は、平成24年度から33年度までの10年間のまちづくりの方向性を定めた第五次総合計画の中で、「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」という都市像を掲げ、その実現に向けて、心が豊かに、都市が豊かに、そして自然が豊かになること、そういう理念のもとに、皆さんが住み慣れた地域で、多くの皆様方と一緒にあって、“このまちに住んで良かった。豊かさを感じられる。”そういうまちづくりを進めていければと思います。</p> <p>2期8年の間、環境、子育て、観光、教育、協働の5つのKを重点政策としてまちづくりを進めてきました。3期目は5つのKはもちろんのこと、今、市民の皆さんが最も身近で、切実に感じておられる地域の活性化や雇用の確保・拡大をひっくるめた「経済」のK。そして、少子高齢化や人口減少時代が到来する中で、高齢者の方々が住み慣れた地域で健やかに、生きがいを持って過ごしていただくためには、医療や福祉が充実し、健康であることが大事だと思います。そういった意味で、「健康」のK。この二つのKを加えた7つのKを重点政策として、3期目を進めていければと思っています。</p> <p>鹿児島のまちづくりは、これまで先人たちが“進取の気風”を持って、素晴らしい文化や歴史を引き継いできていますので、皆さんのようにこれから鹿児島を背負っていく方々にその気風をつなぐまちづくりをしていきたいと思っています。また、定住人口はなかなか増えませんが、交流人口を増やすことでまちの活力を生み出していかなければならないと思います。各都市と交流し、繋がっていく、そういうまちづくりを進めていきたいと思ひますし、また、鹿児島の素晴らしい魅力を伝えていくことで、世界に誇れるまち、全国に名だたる都市になると思ひますので、そういった思いを持ってこれから3期目の4年間、しっかりとしたまちづくりを進めていければと思います。</p>	企画財政局	※市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年1月15日(火)16:00~17:30  
場所:鹿児島女子高校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
14	2年生	⑭ 新幹線の影響で、経済的にも元気になってきていると思うが、鹿児島の景気がさらに良くなるために、ショッピングセンターなどを増やすことはできないか。	⑭ 景気浮揚・拡大は日本全体の大きな課題だと思いますし、鹿児島はその中で元気のある都市だと思っています。お話のあったように、九州新幹線の全線開業効果で良い影響が数多く出てきたと思いますし、ショッピングセンター等の話が出ましたが、そういう企業が鹿児島に立地していただくことを心から望んでいます。 鹿児島市では中心市街地の活性化を図るために、第2期の計画を策定し、進めようとしています。今、どちらかというと南部地域の方にショッピングセンターが多く進出しており、昔の繁華街というイメージが少し変わり、天文館周辺の空洞化が少しずつ進んできていますので、空き店舗を減らし、多くの方々に集まっていただけるような計画を立てて事業を推進しています。 できれば、地元の企業に力を出していただき、意欲を持って取り組んでいただければと思います。地元の経済界の皆さんと一緒に知恵と工夫を凝らしながら、鹿児島の企業のいい意味での競争をしていただき、環境や観光などの新たな分野にも進出していただき、鹿児島の経済の活性化や回遊性にも寄与していただければと思います。色々な面で企業誘致にも努力をしていきたいと思っています。	経済局 建設局	(経済局) ※市長回答のとおり  (建設局) 中心市街地において、さらなるにぎわいや回遊性の向上を図るため、住民や事業者、事業者等との協働によるまちづくりを推進してまいります。 また、地元の再開発に対する機運・熟度等を勘案しながら、段階に応じた指導・支援を行ってまいります。
15	2年生	⑮ なぜ、市長になろうと考えたのか。	⑮ 平成16年に市長になりましたが、それまで私は市の職員でした。平成16年11月に1市5町が合併しました。それまでは鹿児島市、桜島町、吉田町、郡山町、松元町、喜入町という、それぞれの自治体で行政を担っていました。合併して新たな鹿児島市が出来たわけですが、これから大きな鹿児島市を担い、新しい鹿児島市をどうしていくかというのは大きな課題だったと思います。 その中で、私は市の職員時代に合併に携わった経緯があり、前の市長がお辞めになるという話があって、合併する町長や町民の皆さんから、できるだけ各自治体の状況を把握していて、行政経験があって、まちづくりに情熱がある人がいいという話があがってきて、そういった中で最終的には私自身で判断し、決断をして、これから市民の皆さんの負託に応えようという思いもあって市長になろうと思いました。 市長になってみると大変です。毎回選挙を経て、こうして市民の皆さんから市長の重責を担わせていただけていますが、やはり、多くの皆様方の期待に応えるための努力をしていかなければならないという思いがあります。そういった意味では、こうして皆さんとお話することも私の大きな力になっています。 市長になる時となった後の思いは大きく変わってきていますので、行政の責任者として皆さんと一緒に知恵と工夫を凝らしながら、鹿児島の輝かしい未来に向けてまちづくりを推進していきたいと思っています。その思いが、市長として立候補したきっかけになったかもしれません。	市民局	※市長回答のとおり